

「女性知事が大相撲の優勝力士に土俵上で知事賞を渡すこと」について、あらゆる年代で「賛成」が「反対」を上回っている——こんな結果が、大阪商業大学比較地域研究所(東大阪市)の全国調査で出た。

同研究所が東京大学社会学研究所の協力を得て99年から行っている「日本版総合的社会調査(JGSS)」の一環。毎年3月の大阪場所を争点と

なっているこの問題を03年の設問に加え、無作為に抽出した全国の20〜89歳の男女に調査を実施。1957人から回答を得た(回収率55・0%)。このほどまとまった集計による

## 「女性が土俵に」賛成多数

各年齢層で・大阪商大調査

事の表彰に「賛成」31世論調査」以来初めて『夫は外、妻は家庭』に反対する人

と、女性知事の表彰について「賛成」は男性47・3%、女性44・5%、「反対」は男性22・7%、女性16・5%、「どちらともいえない」が男性29

であり、特に40代より若い世代では「賛成」が半数を超えていた。賛否と回答者の他の属性との関連をみると、地域による

「夫は外、妻は家庭」に反対する人では、女性知事の表彰への「賛成」が59・4%なの

対し、「反対」は15・3%している。【畑律江】

・7%、女性38・8%で、人々の意識は女性知事の表彰にかなり寛容だった。また20代から80代のすべての年代で「賛成」が「反対」を上回っ

見に賛成する人では、女性知事の表彰に

と少なかった。関係が研究の代表幹事の岩井紀子・大阪商業大教授は「内閣府が2月に発表した『男女共同参画社会に関する世論調査』